

【資料3】

令和7年3月24日

野辺地町教育員会

教育長 小 野 淳 美 様

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

委員長 木 村 典 克

答 申 書

令和6年10月22日に諮問のあった、町立野辺地小学校及び若葉小学校の統合に併せて行う新校舎等の施設整備事業（野辺地小学校改築事業）の基本設計・実施設計にあたり、より良い教育環境の実現のために必要な事項について、次のとおり答申します。

当委員会では、設計業務を受託した株式会社 石川設計 様の設計プランを基に、統合校舎に求める施設の配置計画や各室への必要な機能及び規模などについて検討してきました。

各委員からは様々な意見が出されましたが、当委員会の検討結果として、以下のとおり意見します。

■【1】建物配置と外構について

- ・初期配置プランは、児童館の周辺環境並びに将来を見据えた柔軟な活用方法をイメージし、児童館を西側に配置する計画であった。工事工程の関係で校舎と児童館の供用開始時期のずれ込みを避けたいことと、校舎間の移動や連携の管理運営の点から**児童館位置を校舎北側に変更**。児童館位置は校舎と離し採光確保を考慮する。
- ・児童館が校舎北側に移動したことにより、**敷地北西側をプレイフィールドにする**。樹木、芝、遊具等を整備し自然の中で活動できる場を提供。南西は南側プレイフィールドの広さを調整しながら、南側駐車場は広く取ることで駐車台数を確保する。南側プレイフィールドは**臨時の駐車場や冬季期間の堆雪場所を想定しクレイ補装**とする。
- ・**スクールバス寄り付きの位置をメインアプローチに沿った位置に計画**し、校舎からの視認性を高める。雨よけになるバス待ちエリアを設置。
- ・敷地南側から通学する児童に考慮し、児童が駐車場出入口を渡らなくても済むように、**南側駐車場南側からメインアプローチまでの歩道を設置**。
- ・**融雪舗装をメインアプローチ階段、屋外スロープに敷設**。
- ・グラウンドの形状、広さについて、200mトラックがおさまり、**100mトラックが校舎と並行になるようにグラウンド北側に配置**。**花壇・農園を、景観や雑草などの管理を考慮しグラウンド南側に配置**。グラウンド南側に**砂場**を配置。
- ・グラウンド倉庫位置は、**スキー用具、グラウンド用具、除雪機械や道具を収納**してグラウンド東側に配置。
- ・ネットフェンスは南側駐車場と南側プレイフィールドを除いた**学校境界線を囲うように設置**。地域への開放性と安全性のバランスを考慮した耐積雪用で、高さは1.8mとする。防球ネットは高さ6mとし、グラウンド南側、東側に設置。愛宕公園側のネットフェンスはもう少し高くするかは今後再検討。**ネットフェンス門扉を設置し、必要により行き来できるようにする**。校舎とグラウンドの間にフェンスは設置しない。
- ・記念樹や既存樹木を**残せるものは残し有効活用**する。

※（以下、資料1と同じ内容）